

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年12月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104829
法人名	医療法人 寛容会
事業所名	グループホーム 癒しの森
所在地	鹿児島県鹿児島市岡之原町600番地1 (電話) 099-295-7255
自己評価作成日	令和元年12月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年12月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム癒しの森はのどかな住宅街の一角に位置しており周りの環境も静かであり穏やかな空気に包まれています。

さて、法人理念であります「人・思・心」は院長の困っている人を助けたいという強い信念に基づきスタッフそれぞれその意味を周知した上でご入居様との関わりを大事にしながら尊厳をもち寄り添いながら時間を大切にしております。

現在、認知症ケア専門士4名による専門的な知識や定期的に行われている勉強会にて認知症ケアのスキルアップに努めております。今までの認知症は「良くならない」等のマイナスのイメージもありました。医学や介護の発達でケア次第では認知症になっても最後までその人らしく生活が送れるようになっております。毎日、笑顔で過ごしていただけるように寛容会に関わる全ての人達が満足と幸せを感じながら過ごせるようお手伝いさせていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、鹿児島市役所吉野支所から車で15分程の岡之原地区の住宅地に位置し、近くには母体法人の医療機関や調剤薬局、知的障害者施設、土木、建設関係事業所、自動車整備工場、個人住宅等が混在している。ホームの広い敷地には多種の草花や樹木が植えられ、利用者は周囲の田畑等からも四季を感じながら平穏な日々を過ごしている。

法人系列の医療機関や老健施設、障害者施設とは常に連携を密にし、24時間の医療連携や理学療法士によるリハビリやケアに関する助言、研修会の合同開催、災害発生時の協力体制が築かれて、利用者や家族の安心につながっている。

開設以来、地域との交流を大切に、地域のイベントへの参加やボランティア及び施設見学の受け入れ、家族や友人知人の来訪、日頃の散歩や外出時の挨拶や会話など円滑な交流が図られて利用者の楽しみとなっている。日頃から地域の人からの、認知症ケアや高齢者福祉に関する相談に専門性を活かして適切に助言し、ホームの多目的ホールは常に住民に開放しており、展示会場や災害時の避難場所等に利用されている。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が地域や家族と触れ合いながら、満足感や生きがい、笑顔に満ちた暮らしとなるよう日々努めている。日頃から利用者や家族の想いの把握に努め、尊厳を大切に無理強いしない利用者主体のケアに取り組んでおり、利用者及び家族との信頼関係が築かれている。

管理者は、職員との和や信頼関係、協力体制の構築を大切に、日頃から気軽に言い合える雰囲気づくりに努めている。出された意見や要望、個人的事情等に配慮しながらホームの運営やサービスの質の向上を図るなど、働きやすい環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	『すべての人に満足を・笑顔』という法人全体の理念を管理者、スタッフ全員で周知、振り返りを行いながらケアを通じ実践に繋げている。	法人の理念「すべての人に満足を」とポリシー「笑顔」をケアの基本姿勢としてホール等に掲示して周知を図っている。日頃の業務の中や申し送り、定例会等でケアの振り返りや意見交換を行って意義を共有し、理念及びポリシーに添った支援の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	秋祭り等施設のイベントへの参加の働きかけ等行い、お店を出店していただいたり、演芸の披露もお願いしている。食材も地域のお店を利用している。	日頃の散歩や買い物時には地域の人と挨拶や会話を交わし、町内会に加入して地域のイベントへ積極的な参加し、多目的ホールを地域へ開放している。ホーム主催の「癒し祭り」や「クリスマス会」等には多くの地域の人や家族、ボランティアの参加があり、日常的に認知症ケアや高齢者福祉に関する相談を受けて、専門性を活かした助言に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	吉野地区のグループホームで各職種の方々と2ヶ月に1回会合を開き、認知症や他研修情報の共有等行っている。祭り時の相談窓口を設置、電話対応を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を設けており、ホームでの現状、取り組み等の意見交換を行っている。	会議は、家族、町内会長、民生委員、市長寿安心センター職員等が参加して定期的に開催しており、ホームの現状や行事計画、活動内容、ヒヤリハット等の報告を行い、委員からは防災や健康管理、認知症ケア等に関する質問や意見、地域の情報等が活発に出されている。家族が参加しやすいように、日曜日の開催や会食を計画する等の工夫もみられる。職員は内容を会議録で共有し、協議してサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護認定、生活保護、オムツ申請等の手続き等で頻回に出向く事がある。又、解らない事等があると、行政に必ず確認をとり協力助言をいただいている。	生活保護や高齢者福祉、介護保険の担当者とは、日頃から電話や訪問でケアに関する事やホームの管理運営、各制度の相談を行って助言・指導をもらう等、協力関係を築いている。市主催の会合や研修会にも積極的に出席して意見や情報の交換を行い市介護相談員も受け入れて、サービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会にて定期的に勉強会を行っている。ご入居様それぞれの状態を理解しながら、安全に過ごしていただける様ケアに取り組んでいる。事業所内に掲示あり。	身体拘束や高齢者虐待については、毎月、研修を実施し、委員会も開催してケアの振り返りや意見交換を行うなど、拘束のないケアに取り組んでいる。また、高齢者虐待等に関する報道を基に意見交換を行って職員の認識を深め、不適切な言葉づかいには言い方を工夫する等意識して改善を図っている。日中は施錠は行わず、利用者の見守りや寄り添いに努め、散歩に同行する等の工夫で安定を図り、自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内に掲示してある身体拘束委員会を設けており、中心となって定期的に勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については、利用されているご入居様がおられ、ある程度理解ができています。日常生活自立支援事業については今後勉強会を行っていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用前に重要事項説明書に基づき説明させていただいている。又、必要に応じて説明を行い、不安が残らない様になっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、担当者会議時ご家族からの意見・要望等聞かせていただき、スタッフ全員で周知・理解しながら改善していき運営に反映させていただいている。	利用者の想いは、日頃のケアの中での対話や表情、仕草等から理解に努め、家族からの意見、要望は来訪時の会話や電話、家族会、近況を伝えるお便りの送付等、日頃から気軽に意見を述べて貰えるように工夫して把握している。出された意見等は申し送りや定例会等で協議して運営やサービスの向上に取り組んでおり、改善の状況は家族にも報告して理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定例会、ユニットミーティングでスタッフの意見を聞かせていただき対応させていただいている。又、年/1回管理者とスタッフの面談も行い、意見を聞いている。	管理者は、日頃から声掛け等で気軽に話し易い職場作りに努めており、定例会や定期的個別面談、日常業務、申し送りの中で職員の意見や提案を聞き取ると共に、必要に応じて個人面談も実施して悩み等を把握し、働きやすい職場環境や業務のスキルアップ、サービス向上を図っている。勤務シフトや外部研修には可能な限り職員の意向を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤勉な非常勤職員は常勤の空きがあれば常勤をして採用している。年一回の面談で個々の意見や資質、希望を聞きながらホームスタッフもやりがいもてる様な環境が作れる様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修を定期的に行っている。又、資格取得に向けた支援では取得後の手当での反映、本人の意向を確認しながら、活かせる労働条件に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉野地区のグループホームの集まり『よかど会』に所属しており、2ヶ月/1回研修、交流会を通じ意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能であれば入居前に、ご本人、ご家族とお会いし、直接乗提供をいただきながら、ご本人、ご家族の想いを受けとめられる様努め、安心できる関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族やご本人にニーズや考えをお聞きしながら、一方的や支援にならない様、本人：家族の困り事		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人、ご家族が困っている事、不安な事、要望時の声を聞かせていただきながら安心できる環境作りに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者1人ひとりやりたい事、好きな事等思いを尊重しながらコミュニケーションをとっている。又、お互いに支え合う関係を大切に心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	往診時の体調報告を月/2回行い、状況報告をご家族の方へ行っている。又、運営推進会議に参加いただいた時は、昼食をホームでご本人と一緒に召し上がっていただき、一緒に過ごせる時間を大切にさせていただいている。尚、行事案内も行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の許可を必ず得て、面会や外出等、本人が大事にされている人達とのふれあいができる様支援している。	入所前の生活状況や日頃の会話から、利用者毎の馴染みの人や場を把握しており、希望に添って散歩や買い物、墓参、一時帰宅等を家族と協力して支援している。利用者の家族や友人等の来訪時にはゆっくり過ごせるように配慮し、電話や手紙を取り次ぎ、近況を伝えるお便りの送付など、関係継続に努めている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格や個性を把握しながら円滑に関係が保てる様に、コミュニケーションを図っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とされる事があれば、サービスが終了しても継続的な関係は大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、ご入居者1人ひとりの思い、意向を把握し、ご本人本位で過ごしていただけ様努めている。	利用者の思いや意向を日頃の会話や表情、仕草等で把握し、その人らしい満足と笑顔に満ちた暮らしを家族と連携して支援している。全員での活動のほか利用者が希望する趣味（計算ドリル他）や家事（洗濯物たたみ、テーブル拭き、味噌づくり等）への取り組みを、心身の状況に配慮しながら個別に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人・ご家族も交えて今までの生活ぶりをお聞きしている。スタッフ間でもこの情報は共有されており、又、新しく知りうる事もあり、現状に対応させていただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お1人おひとり過ごし方を尊重している。その中で個々の心身状態を観察、把握しながら必要な情報をスタッフ全員で共有し対応させていただいている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居者も方はご家族と生活の振り返りや今後の意向等聞かせていただき、情報収集、モニタリングを行いながら、ご入居者の方の笑顔や自信に繋がる介護計画作成に努めている。	担当者会議や日頃の対話などで本人・家族の意向を聞き取り、主治医や理学療法士、職員からの意見を反映した詳細な介護計画を作成している。支援経過記録やモニタリング、申し送り、ユニットミーティングなどで日頃の利用者の状況を確認し、実情に即して計画の見直しを行って改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の中で本人の希望や望む生活を把握し、申し送り等で情報共有を行っている。可能な限り対応させていただき、より良いサービスに繋がる様努めており、ご家族の支援が必要な時はご相談させていただいている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お1人おひとりを支える為に個別のサービスを必要時にどうしたら提供できるかをスタッフ全員で話し合いを持ち、工夫しながら取り組んでいる。歯科往診、訪問マッサージも利用されている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアを定期的に慰問させていただき、日々の生活を楽しんでいる。又、法人の畑の利用、芋とり等行い、ホームでの食材に取り入れた献立を提供している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望される病院での往診、診察を行っている。	協力医療機関をかかりつけ医としている利用者が殆んどで、定期的な訪問診療が実施されて利用者及び家族の安心につながっている。他科受診については家族または職員が協力して同行しており、歯科も訪問診療を受けている。かかりつけ医との医療連携や家族との情報交換を密に行い適切な医療が受けられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の看護師と24時間体制にて連絡がとれる様になっており、適切なアドバイスが受けられる様になっている。又、協力医療機関の看護職員と連携を図りながら、必要な指示・助言をいただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は状態確認の為、面会にも行かせてもらっている。又、SWと情報交換を行いながら、本人の退院については先生、ご家族と一緒に決めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の意向をくみ取りながら、スタッフ全員で話し合い家族、医療関係者と連携を図り、チームで支援できる様努めている。尚、本人にとって一番良い環境とは何なのかという事も考え行っている。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては指針を整備しており、利用開始時に説明して利用者、家族の理解を得ている。重度化した時点で、家族及びかかりつけ医と十分に話し合っ方針を共有し、可能な限り希望に添った体制を築いて支援しているが、殆んどが終末期には医療機関への入院を選択している。また、看護師が主となって重度化や看取りに関する研修を実施し、職員のスキルアップや理解の促進にも取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時のマニュアルや消防署による救急隊員指導による緊急対応訓練を実施し、全スタッフが対応できる様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防訓練を実施している。地域との緊急連絡網も作成している。自然災害マニュアルも作成済みである。</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回夜間を含む火災、風水害、地震等を想定した防災訓練を、町内会長も参加して実施している。日頃から避難経路や通報手段を確認し、災害の報道をもとに意見交換等を行って認識を高めており、法人全体で災害時の協力体制を構築している。スプリンクラーや火災通報装置を設置し、懐中電灯、ラジオ等の整備や飲料水や食料品、介護用品を備蓄している。また、ホームの多目的ホールを避難場所として地域住民に開放している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様お1人おひとり、人生の先輩であり、今まで生きてこられた自信・誇りを持っておられます。常に尊敬の念を持ち、優しい声かけ、人格の尊重、プライバシーを重んじた対応ができる様にしている。	利用者の尊厳やプライバシーの確保については、研修の実施やケアの振り返り等で共通の理解に努め、トイレ誘導や居室への入室、入浴、衣服交換には、羞恥心やプライドに特に配慮する等、適切な支援の実践に取り組んでいる。ホームはプライバシーに配慮した構造となっており、台帳類も適切に管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居様の意志を尊重しながら、遠慮なく思いが伝えられる様な働きかけをしている。又、自己決定ができる様なお声かけも工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調に合わせながら、一人ひとりのペースを大切にしながら生活できる様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お化粧の要望がある時は、スタッフが買い求めたり、ご一緒に出かけ選んでお化粧をしておられる。又、おしゃれとしては、ご本人に選んでいただき、お好きな服で過ごされている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人のお好きな物、苦手な物はスタッフが把握している。苦手なメニューは他のメニューに替えて提供させていただいている。ご一緒にお盆拭きのお手伝いをされている。	栄養バランスや形態、代替品、季節感等に配慮し、菜園や頂いた野菜も活用して調理しており、利用者は台拭き等を自発的に行っている。正月や敬老会、クリスマス等の行事食や誕生日の希望食、手作りのおやつ、テラスでのお茶、家族との会食、ドライブでの外食など食事が楽しみなものになるよう工夫し、利用者毎に摂取状況も把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取状態を毎日把握し記載している。水分が入らないときは好きな飲みを提供したり、食事がつままない時も、好きな食べ物・果物等提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お1人おひとりの状況に合わせて、口腔ケアのお手伝いをさせていただいている。週/1回歯科往診があり、口腔内チェック、ケアを行なっていたい。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗の原因はそれぞれなので、1人ひとりの身体状況、排泄リズム等検討しながらスタッフ全員で話し合い、排泄の自立に向けた支援を行っている。	利用者毎の習慣や排泄パターン、サイン等を把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援している。身体状況に合わせた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて改善に努めており、おむつの軽減等の成果が見られている。便秘の予防に、植物繊維の多い食材や水分の摂取、運動量等に配慮し、主治医とも連携して改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取の少ない方には好きな嗜好品の提供、食事の献立にも野菜や繊維者を使用した食事の提供を行っている。又、日中の体操も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お1人おひとりの体調や希望に合わせた入浴を行っている。都合で入浴できなかった方は次の日に入浴していただく様にしている。	健康状態に配慮し、週2～3回、足浴や清拭への変更も取り入れながら入浴を支援している。時間や好みのシャンプーや温度などは柔軟に対応し、ゆったりと安心して楽しめるように配慮している。入浴後は皮膚疾患の手当や水分補給を支援し、入浴をためらう利用者には、時間や職員の変更、声かけ等の工夫で利用者が意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お1人おひとりのペースでリビングや自室で過ごされている。日中の活動を促し、生活リズムを整え、安眠できる様努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご入居様のより良い体調を保つ為、安全に確実に服薬できる様努めている。個々の薬の内容についても各スタッフ理解できている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お1人おひとりの楽しみや残存機能を活かしながら、以前と変わらない様、出来る事へ自信を持っていただき過ごせるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日のそれぞれの体調を考慮しながら、レク、散歩、趣味等楽しんでもらっている。年間を通して個別外出にも取り組んでいる。	健康状態や天候等に配慮しながら、利用者の意向に添って周辺の散歩や、ミニドライブ、買い物、納涼船、一時帰宅、墓参等の外出を家族と協力して取り組んでいる。季節の花見などホーム全体での外出のほか、年1回、個人の希望外出を実施して外食等を楽しむなどリフレッシュを図っており、利用者の楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ホームに立替で、家族の許可を得て希望の物を購入している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	家族や知人になど自由に電話ができる様にしている。手紙も要望があれば対応している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ご入居様と一緒に季節の飾りを行ったり、カラオケを聞き歌われる等、楽しみを持って過ごされている。又、ひとりになりたい時は、居室でゆっくり過ごせる空間がある。	ホーム全体がバリアフリーで、木目が活かされた内装で、明るくゆとりあるリビングは開放感があり、季節の花や・手作りの作品など、季節を感じられるよう工夫されている。リビングは、利用者の動線や利便性に配慮してテーブルセットやソファ、テレビ等が設置され、広いウッドデッキや畳部屋もあり、炊事の音や匂いも伝わって気持ちよく過ごせる環境である。清掃や空調、衛生、異臭等に細かに配慮されて清潔感に満ちている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	リビング内でもテレビなどから少し距離を静かに過ごせる場所の確保に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真、置物、寝具等を持参され、居心地良く過ごされている。</p>	<p>明るくゆったりとした居室はフローリングに腰高窓の仕様で、ベッドやエアコン、クローゼット、小タンスが備えてあり、利用者の意向を確認しながら衛生管理や整理整頓を日常的に支援している。利用者は家庭同様に憩える暮らしとなるよう、使い慣れたテレビや寝具や、家族写真、小物等を自由に持ち込み、また、自身の作品も飾るなど、その人らしい和やかな雰囲気スペースとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各部屋には表札をつけたり、トイレには目印をつけたりして、混乱しない様工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない